

豊岡市総合計画の策定に向けて

市内11会場で

「市民まちづくり懇談会」を開催

11月12日から12月4日まで、市内11会場で「市民まちづくり懇談会」を開催しました。この懇談会は新市のまちづくりの指針となる「豊岡市総合計画」の策定に市民の皆さんの意見や提言を反映させることを目的として実施したものです。

懇談会には、合計861人の市民の皆さんに参加いただき、320件の意見や提言をいただきました。今後、総合計画審議会などで皆さんから寄せられた意見・提言を参考にして十分に議論・検討していきます。

今回出された分野ごとの主な意見や提言と、それに対する市の考え方を次のとおり紹介します。



まちづくりに対して意見を述べる参加者（11月14日、出石総合支所）

地域振興・定住促進

【意見】 若者の定着がなければ活力がないまちになってしまふ。働ける場所をつくり、活力あるまちづくりを行ってほしい。（竹野・男性）

【市の考え】 働く場所をつくること、出て行った若者が帰って来るようなまちをつくることは大切なことであり総合計画の中でも取り入れていきたい。

どのようにして産業を活発にしていくかが大きなテーマであり、例えば観光であれば市全体の関係機関が連携して外から観光客をいかに取り込むかがポイントとなる。また、環境と経済がうまく結びつく分野にも力を入れていきたい。

農 林 水 産

【意見】 総合計画の策定については、農村と農業の活性化を大きな柱にして住民を巻き込んで議論していただきたい。また、大規模農家ではなく

小規模農家のための活性化施策も検討いただきたい。（日高・男性）

【市の考え】 総合計画の中で、農業・農村の活性化も大きなテーマとなる。国の支援は大規模農家へ向くと考えられるので、小規模農家は、別の方策を考える必要がある。例えば農産物の高付加価値を付けるなどの対策が必要である。行政がしなければならぬことは総合計画策定の中でしっかりと考えていく。

農業の「業」をどうするかに加えて、「農」の魅力について、いろいろな観点からの振興策も計画策定の大切な要素と考えている。

観 光

【意見】 新市のまちづくりに関しては、楽しいまちをつくる観点が大切であると考え、自然、味覚を使って人を育む企画をお願いしたい。（豊岡・男性）

【市の考え】 ぜひ、総合計画ではその視点を取り入れたい。コウノトリの放鳥により注目されているこの機会を利用して豊岡をもっと好きになってもらえる企画を考え、総合計

市民まちづくり懇談会実施状況

開催日	地域	場 所	参加者数	意見提言数	記入用紙記録
11/12	但東	但東市民センター	156	24	126 件
11/14	出石	出石総合支所	78	18	
11/21	日高	三方地区公民館	94	14	
11/22	出石	出石農村環境改善センター	37	11	
11/24	日高	日高農村環境改善センター	114	15	
11/26	竹野	竹野南地区公民館	59	15	
11/28	城崎	城崎総合支所	95	20	
11/30	竹野	竹野地区公民館	95	18	
12/ 2	豊岡	港地区公民館	49	14	
12/ 3	豊岡	豊岡地区公民館	51	22	
12/ 4	豊岡	五荘地区公民館	33	23	
合 計			861人	194件	

画の中でもしっかりと位置づけた。

健 康 ・ 医 療

【意見】 健康の大切さを感じている。特に若い世代の健康づくりが大切である。

また、健康づくりサークルなど各種団体のネットワークづくり、全市民が健康づくりや運動に参加できるシステムづくりを検討し、健康なまちづくりを進めてほしい。（豊岡・女性）

【市の考え】健康づくりは、まちづくりにおいて重要な柱になると考えている。年齢層や状態などそれぞれの段階に応じた健康対策を総合的に考えなければならぬ。

健康づくりサークルなど各種団体のネットワークづくりも大切である。

福祉

【意見】障害者の自立支援策として、空き家を買上げ、グループホームなどを整備してほしい。(但東・男性)

【市の考え】国の施策を含め、高齢者対策に比べ障害者対策が遅れていることは十分認識している。

健常者ではわからないことがたくさんあるので、ぜひ、現場側の視点においても提言してほしい。

災害復旧・治水対策

【意見】洪水対策としての堤防の嵩上げには限界があるのではないかと。遊水地、外堤防を検討する必要があるか。(城崎・男性)

【市の考え】国による円山川緊急治水対策事業では、堤防は計画高水位プラス50センチの高さまで嵩上げされることになっている。

また、堤防の補強や構造の強化、河道掘削、内水対策と

してのポンプ整備、遊水地整備が行われるとともに、洪水阻害橋梁であるKTR円山川橋梁、出石川の鳥居橋も架け替えられる。

青少年健全育成

【意見】総合計画は、青少年の健全育成などに配慮したものにしてほしい。(出石・男性)

【市の考え】いろいろな情報に対して耐える心を身につけることができる子どもを育てることが重要である。青少年の健全育成については学校や家庭、地域も含めて取り組む必要がある。

来年度は、健全育成に関する施策の柱の一つに「子どもたちの野生復帰大作戦」を考えている。この事業を通して子どもたちに人間としての「育ち」、倫理観を持ってもらいたいと考えている。また、読書教育にも力を入れたい。青少年の健全育成に関するさまざまな施策を具体的に総合計画に盛り込みながら心の強い子どもを育てていきたい。

公民館・地域間交流

【意見】新市において心の面での統一が必要であると考えられる。いろいろな活動により交流が広がるのが心の統一につながるのではないかと。

そのための一つの施策として公民館活動を充実させることが重要ではないか。(日高・男性)

【市の考え】合併前と比べ住民と行政の距離は遠くなったが、それでも大丈夫なまちづくりをするには、コミュニティがしっかりしていること、コミュニケーション活動が活発であることが重要である。そのコミュニケーションを維持する拠点として地区公民館を考えている。出石、但東地域には、活動の拠点が無い地区があるため公民館整備を充実させる必要がある。公民館に関する施策を総合計画の中にできるだけ盛り込みたいと考えている。

【意見】補助金をあてにして事業展開しているものについては、見直す必要があるのではないかと。(但東・男性)

【市の考え】行政改革の中で補助金についても見直しを検討している。補助金をすべて廃止し、民間のみで事業を行うことは、この地域においては不可能なものもある。例えば、事業の立ち上げ時期のみ補助し、ある程度自立すれば補助金を打ち切るなどの方法もあり、厳選して行ってきたい。

行財政改革

【意見】補助金をあてにして事業展開しているものについては、見直す必要があるのではないかと。(但東・男性)

【市の考え】行政改革の中で補助金についても見直しを検討している。補助金をすべて廃止し、民間のみで事業を行うことは、この地域においては不可能なものもある。例えば、事業の立ち上げ時期のみ補助し、ある程度自立すれば補助金を打ち切るなどの方法もあり、厳選して行ってきたい。

参画と協働

【意見】新市のまちづくりは、市民一人ひとりが作り上げていくものである。行政が格好良い総合計画を作ってしまうのではなく、市民一人ひとりが作り上げることによって未来に責任を持てるものになる。そこで、自治組織や公民館組織などで役目を決めること

によって市民一人ひとりがまちづくりをする体制にしてはどうか。(豊岡・男性)

【市の考え】国の三位一体の改革で、より一層、地方分権が進む中、市民との対話をしながらまちづくりを進めていかなければならない。市民の皆さんもそうした覚悟をもつて一緒にまちづくりに参加していただきたい。

既に自治会からはまちづくりに対するさまざまな意見を個々にいただいている。

一方、公民館については、今後、組織でまちづくりについて議論して提言をいただきたい。要請があれば出席し、議論したいと考える。

ある程度構想がまとまった後にさまざまな分野の人々と議論をして現実に即した総合計画にしたい。



市民まちづくり懇談会の発言要旨の詳細については、市ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。
ホームページアドレス
<http://www.city.toyooka.jp/>

市民アンケート調査

協力のお礼について

総合計画の策定に市民の皆さんの意見を生かそうと12月初旬から約15,000人を対象にして「市民アンケート調査」を行いました。

集計結果については、後日「広報とよおか」と本市ホームページでお知らせする予定です。
ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

総合計画審議会を

傍聴しませんか

「総合計画審議会」は、一般に公開され、だれでも傍聴することができます。
傍聴方法および日程については、企画課まで問合せください。

また、審議会の資料については、市立図書館および企画課、各総合支所にて閲覧することができます。

【問合せ】企画課企画調整係